



# マンホール嵩上げ用超速硬タイプ NEWフィルコンM

## NEWフィルコンMの特長

- 1. 1日での強度発現性**  
1時間で10N/mm<sup>2</sup>以上の圧縮強度が発現する、マンホール嵩上げ用超速硬性の無収縮モルタルです。
- 2. 流動性**  
流動性に優れ、狭い箇所にも行き渡り、確実に充填させることができます。
- 3. ノンブリーディング**  
ブリーディングが全く発生しません。

## 施工方法

### 前準備

- 練混ぜ水：**酸・油・有機不純物等を含まない清水。  
**ミキサー：**ハンドミキサー（1100rpm以上）、グラウトミキサー（750rpm以上）等の高速回転型をご使用ください。手練りによる練り混ぜはできませんのでご注意ください。  
アルミ製の羽根、容器は決して使用しないでください。

### 下地処理

- 下地コンクリートの浮き、脆弱部、レイタンス、油類などを除去します。
- 鉄筋部分は錆を落とし、必要に応じ防錆材などによる防錆処理<sup>(※1)</sup>を行います。
- 下地コンクリートを十分に水洗いし、湿潤状態に保ちます。水洗いが不可能な場合は下地をエアブロー等で良く清掃し、プライマー処理<sup>(※2)</sup>を行ってください。
- ※1) 当社製品「α防錆ペースト」、「リフレ防錆コートZN」をお勧めします。
- ※2) 当社製品「リフレトリート」をお勧めします。

### 施工

- 練り混ぜ：**練混ぜは右図に従い、十分に練混ぜを行ってください。
- 注入：**注入条件によって自重圧・ポンプ注入等選択してください。注入は打設箇所全体で計画レベルを確保できるよう連続的に行ってください。また、バイブレーター等による振動締固めは基本的には不要です。
- 仕上げ・養生：**施工終了後、モルタル表面が露出する部分は養生マットやシートで覆い、直射日光や風から保護し、常に湿った状態を保つようにしてください。特に高温環境下ではシートで覆い、直射日光を防ぐ必要があります。寒冷環境（外気温が5℃以下）では、シートや灯光器などを使用して保温養生を行ってください。

### 取り扱い上の注意

- 不浸透性の保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/防塵マスクを着用してください。
- 粉じん等を吸入しないでください。
- 取扱後は手、顔をよく洗ってください。
- 使用前にSDSを入手し、ご確認ください。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。



荷姿は製造の都合等により予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

### 配合例

配合	水材料比 (%)	単位量 (kg)		練上がり量 (ℓ)
		NEWフィルコンM	水	
1袋	18.0	25(1袋)	4.5 (4.1~4.8)	約13.5
1 m <sup>3</sup>	(16.4~19.2)	1875(75袋)	338 (308~360)	約1000

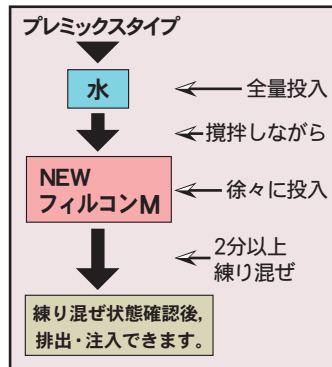
注) 水量は気温・材料温度・水温等により若干変動します。使用前に試験練りを行い確認のうえで水量を決定してください。

### NEWフィルコンMのタイプ

NEWフィルコンMは通年安定した性能を発揮させるため、気温に応じた2タイプをご用意しております。施工時期・施工条件等をご検討のうえ、適切なタイプを選択してください。

タイプ	適用	選定基準
S	標準期・暑中期	練上がり温度10~35℃
W	寒中期	練上がり温度5~15℃

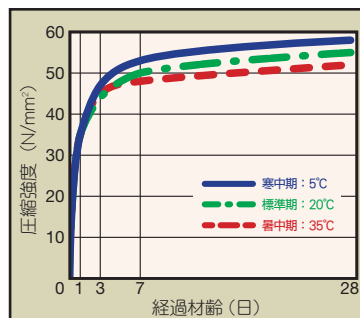
### 混練手順



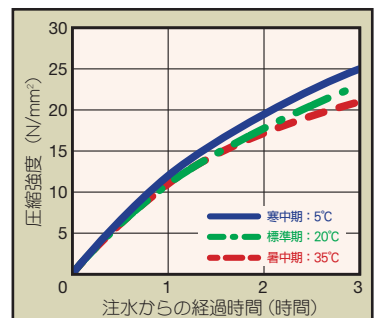
### 混練状況



### 圧縮強度の測定例



### 材齢3時間以内の圧縮強度発現



本カタログの記載内容については、予告なしに変更する場合がありますので、予め御了承願います。